

株主の
みなさまへ

上半期 株主通信

第 151 期 | 平成26年 4 月 1 日から
平成26年 9 月30日まで

工業用薬剤の
トップ企業として、
京都から世界と未来へ
こたえる。

CHANGE
100
2014-2015

こたえる、
化学



第一工業製薬

DKS CO. LTD.

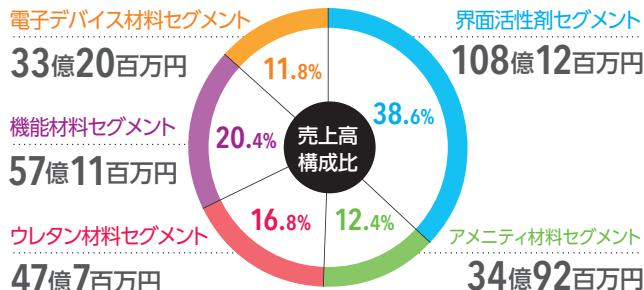
*表紙中央写真は、当社社員が製造する風景です。



代表取締役社長執行役員

大柳 雅利

平成26年12月



Q1 上半期の経営概況はいかがでしたか。

消費増税がなされ、その影響が出るであろうと予測していましたが、思ったほど影響は少なかったように感じています。しかしながら、夏場の天候不順の影響がありました。また、基礎原料ナフサ価格の高止まりが収益を大きく圧迫しており、依然として厳しい状況が続いていますが、前年同期と比べて増収・増益となりました。

Q2 業績が伸びた主な要因を教えてください。

特に、高付加価値な新製品が拡販されたことです。ただ、原材料費の値上がり分を十分に製品価格へ転嫁できていない点は課題です。

Q3 最終年となった「チェンジ100計画」、ステージIIの進捗はいかがですか。

ステージIIにおけるテーマは、「収益を伴う拡大」です。そのために、「事業周辺領域の拡大」や「国内生産拠点の充実と新生」といった経営方針を掲げました。前者は、既存の原料・製造プロセス・顧客に焦点を当て、その周辺から新たなビジネスチャンスを獲得していこうとする取り組みです。たとえば、当社が半世紀も前から製造してき

たCMC※は、リチウムイオン電池の負極側バインダーとして応用でき、実績として拡大してきています。後者については、今年、四日市事業所霞新工場の建設に着工することができました。来年夏頃に完工する予定です。

Q4 「チェンジ100計画」、ステージIIでは、マネジメント力の向上も掲げ、人材育成にも力を注いでおられますね。

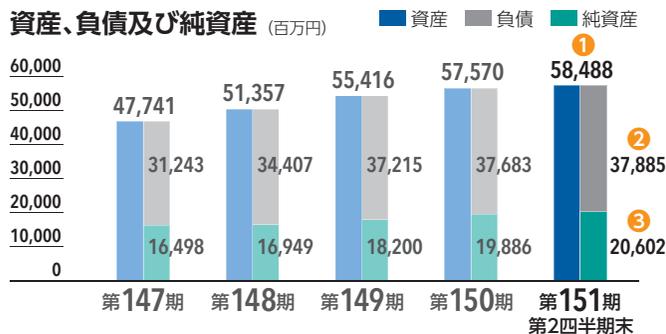
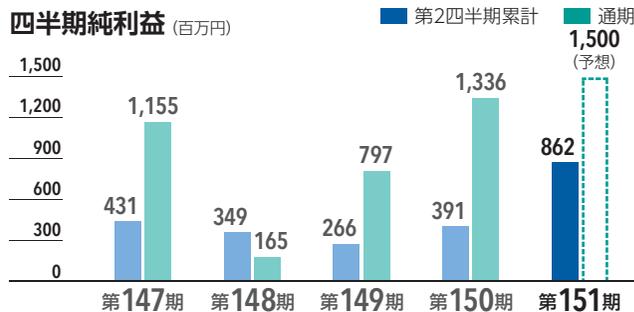
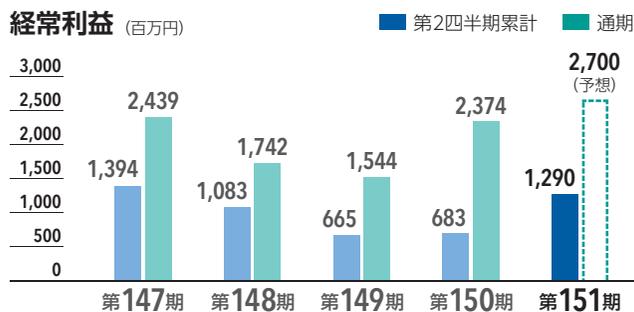
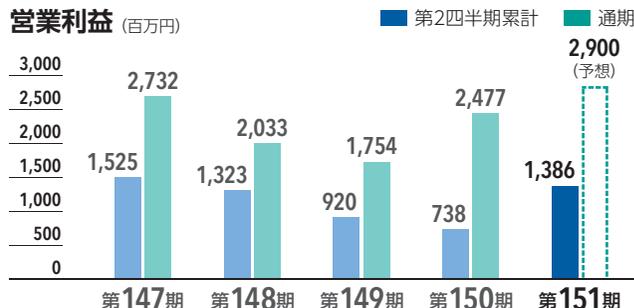
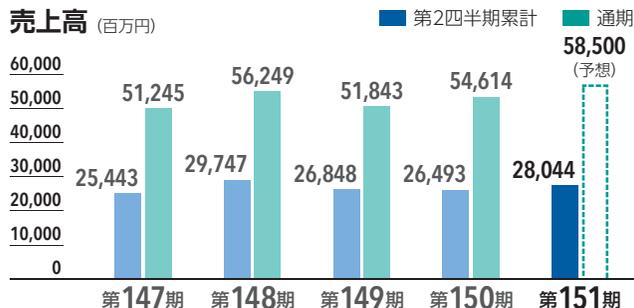
研修制度を充実させました。特に、経営者育成研修を新設し、幹部クラスに収益への執着心を植えつけています。随分と意識が変わってきており、手応えを感じています。

Q5 最後に、下半期の重点取り組みについて教えてください。

来年4月からスタートさせる次期中期経営計画を策定します。その中で、界面活性剤や難燃剤、また子会社の四日市合成(株)や京都エレックス(株)で展開する事業など、6つの主要事業を中心に、利益率を重視し損益を改善する施策を考えていきます。また、海外売上拡大のため、海外生産拠点の整備・拡充も課題として取り上げます。

※CMC (Sodium Carboxymethyl Cellulose) : 化学名をカルボキシメチルセルロースナトリウムという、セルロースを主原料にした代表的なアニオン性の水溶性高分子。

損益及び財産の推移



POINT ② 負債

負債は第150期末と比べ2億1百万円増加し、378億85百万円となりました。その主な要因は、短期借入金は減少しましたが、長期借入金が増加したことなどによるものです。

POINT ③ 純資産

純資産は第150期末と比べ7億16百万円増加し、206億2百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払がありました。また、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響の計上などにより利益剰余金が増加したことなどによるものです。なお、自己資本比率は、第150期末と比べて0.8ポイント改善し33.4%となりました。

POINT ① 資産

資産は第150期末と比べ9億18百万円増加し、584億88百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金は減少しましたが、受取手形及び売掛金、建設仮勘定、投資有価証券が増加したことなどによるものです。

機能材料セグメント ピロガード

次世代ニーズに応える プラスチック用難燃剤

増加するプラスチック製品向けに、薄型テレビの
部材や建築物の断熱材向けでシェアを拡大

難燃剤とは、物を燃えにくくする材料で、現在、電化製品や自動車部品、建築材料などに多く使用されています。また、種類や用途、使用量がますます増えているプラスチック材料においても、経年劣化等による発火などで製品や部品が燃えないようにすることが必要とされ、それぞれ使用されているプラスチックに適した難燃剤が求められています。

当社のピロガードシリーズは、これらのさまざまな素材や用途に応じた製品群を取り揃え、プラスチック製品の

薄型テレビの部材に



建築物の断熱材に

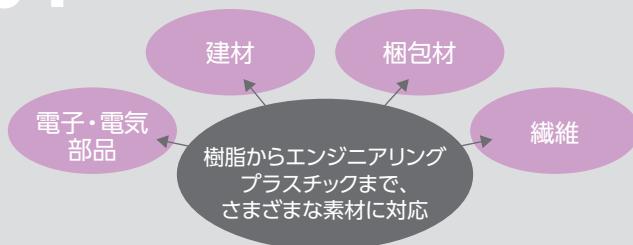
拡大とともに、幅広くご使用いただいています。

特に、薄型テレビの部材用として使われているピロガードSR-245は、そのトータルバランス（難燃性、加工性、意匠性など）の良さからシェアを拡大しています。

また建材分野では、発泡スチレン系断熱材に使用されているHBCD（ヘキサブロモシクロドデカン）という難燃剤の代替品として、下記の状況からピロガードSR130が大きく伸長しています。今後、海外市場でもHBCDは規制が強化される傾向にあり、さらなる拡販を目指します。

ピロガードの強み

01 幅広い用途に使用可能



02 HBCD代替品として使用可

従来より使用されていたHBCDは、難燃性やコストバランスに優れ、この用途で数十年にわたって使用されてきました。ただ、従来からその安全性が問題視され、数年前に国内ではその難分解性や蓄積性の面から第1種監視化学物質に指定されました。当社はこれらの状況を踏まえてHBCDの代替品検討に早期から着手し、ピロガードSR130を開発しました。

株主さまアンケート結果

平成26年6月25日発送の150期通期株主通信に株主さまアンケートを同封させていただきました。その結果の一部をご報告させていただきます。

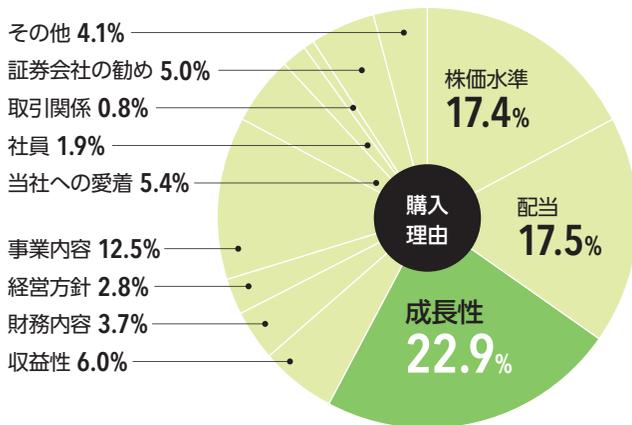
株式の購入理由としては、「成長性」の割合が最も高くなっています。自由記載欄においても、セルロースナノファイバー等の新規事業や、新工場に期待するご意見

を多く頂戴しました。また、今後の投資方針に関しては、「継続保有」の割合が最も高くなっています。

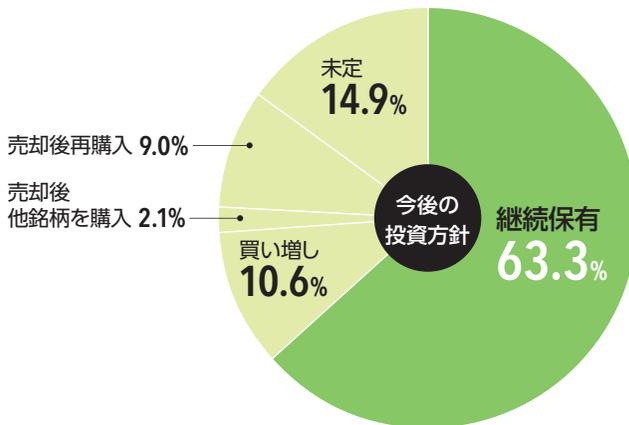
今後も、みなさまのご期待にお応えできるよう、中長期での成長を目指していきます。

調査対象：6,141名 ご回答数：946(返送率：15.40%)

Q 当社の株式を購入された理由を教えてください。(複数回答可)



Q 今後の当社株式に対する投資方針をお聞かせください。



Q 当社に対するご質問、ご意見がございましたらご記入ください。(自由記載欄)

期待 激励

アンケートを実施されるなど株主を大切にされる姿勢をうれしく思います。今後とも株主と意思の疎通を図られることを期待しています。

セルロースナノファイバー、燃料電池、イオン液体等材料が豊富なので期待しています。

霞工場の新設について期待をしていますので皆さんで頑張ってください。

TOPICS

四日市事業所霞工場の建設

当社は、現在、四日市地区における生産拠点の大規模再編を進めています。その核となるのが、三重県四日市第3コンビナート霞地区に購入した10万平方メートルの敷地に建設される新工場(霞工場)です。当社は、この新工場を、新規事業や次世代電池の新素材開発など総合的な開発機能を包含させた「マザー工場」として位置づけています。

平成26年8月12日に工事の安全を祈願して起工式を執り行い、現在、第一段階として、電子基板用絶縁材料やトンネル工事に用固結剤のプラントの基礎工事を行っています。完工予定は平成27年夏頃です。



プラント建設中の写真(平成26年10月下旬)

株主メモ

創業年月	明治42年4月(1909年4月)
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会 配当	毎年6月下旬 期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
単元株式数	1,000株
発行済株式総数	43,421,609株(平成26年9月30日現在)
お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主さまの各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、みずほ証券(株)及びみずほ信託銀行(株)にてお取次いたします。
お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行(株) 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行(株)及び(株)みずほ銀行の各本店及び全国各支店
上場取引所	東京証券取引所(証券コード4461)

〔**〈免責条項〉**本紙に掲載している将来に関する予想は、平成26年11月20日時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでいます。実際の業績などは、業況の変化などにより異なる場合があることをご承知おきください。〕

第一工業製薬株式会社

〒601-8391 京都市南区吉祥院大河原町5
TEL 075-323-5911 FAX 075-326-7356
<http://www.dks-web.co.jp>

